

平成30年7月6日

第10回地域包括ケア応援セミナー



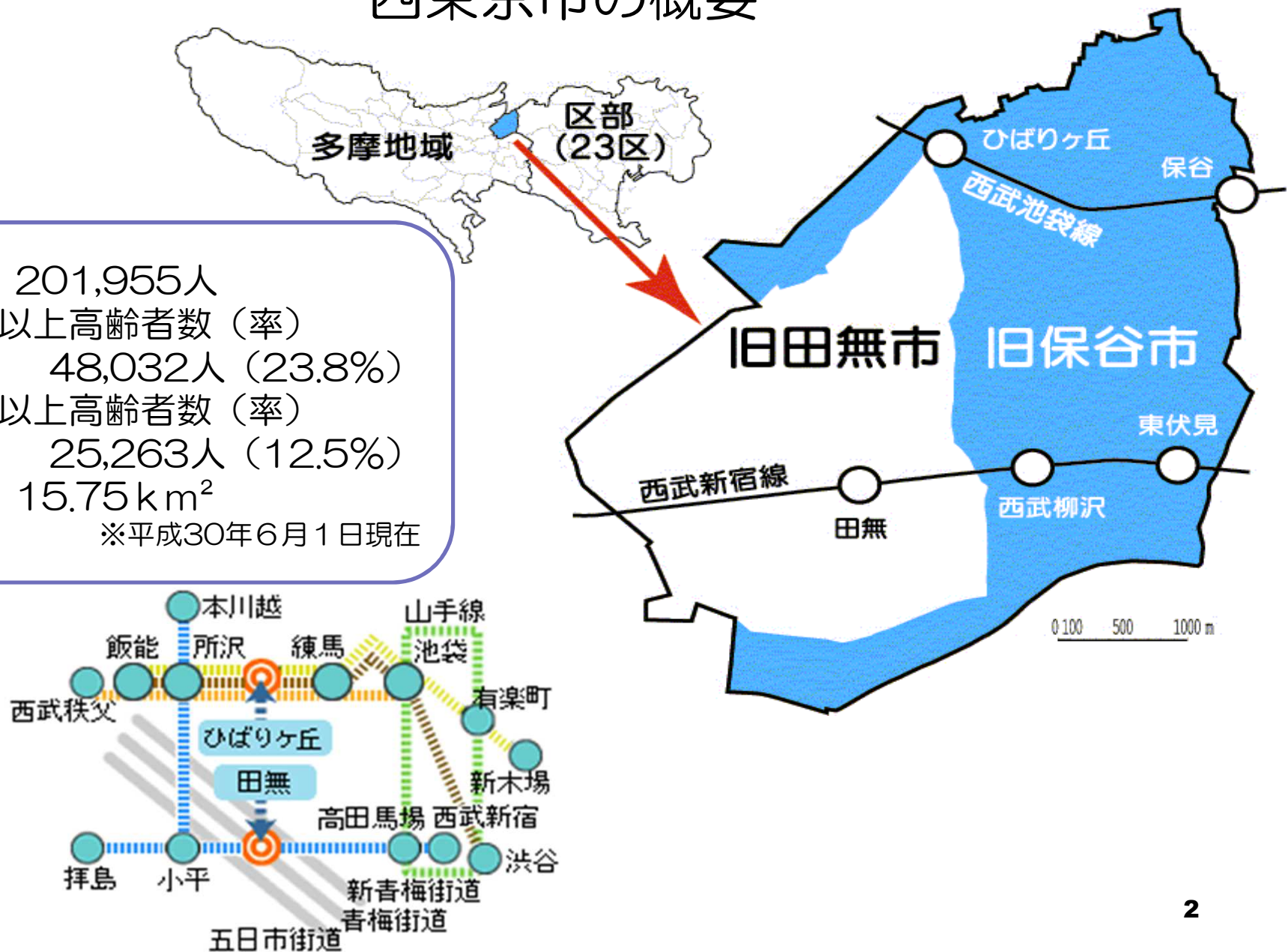
地域と共に作り上げる オール西東京のまちづくり



いこいーな
©シンエイ／西東京市

西東京市の概要

人口 201,955人
65歳以上高齢者数（率）
48,032人（23.8%）
75歳以上高齢者数（率）
25,263人（12.5%）
面積 15.75 km²
※平成30年6月1日現在



基
軸

『健康』 応援都市の実現

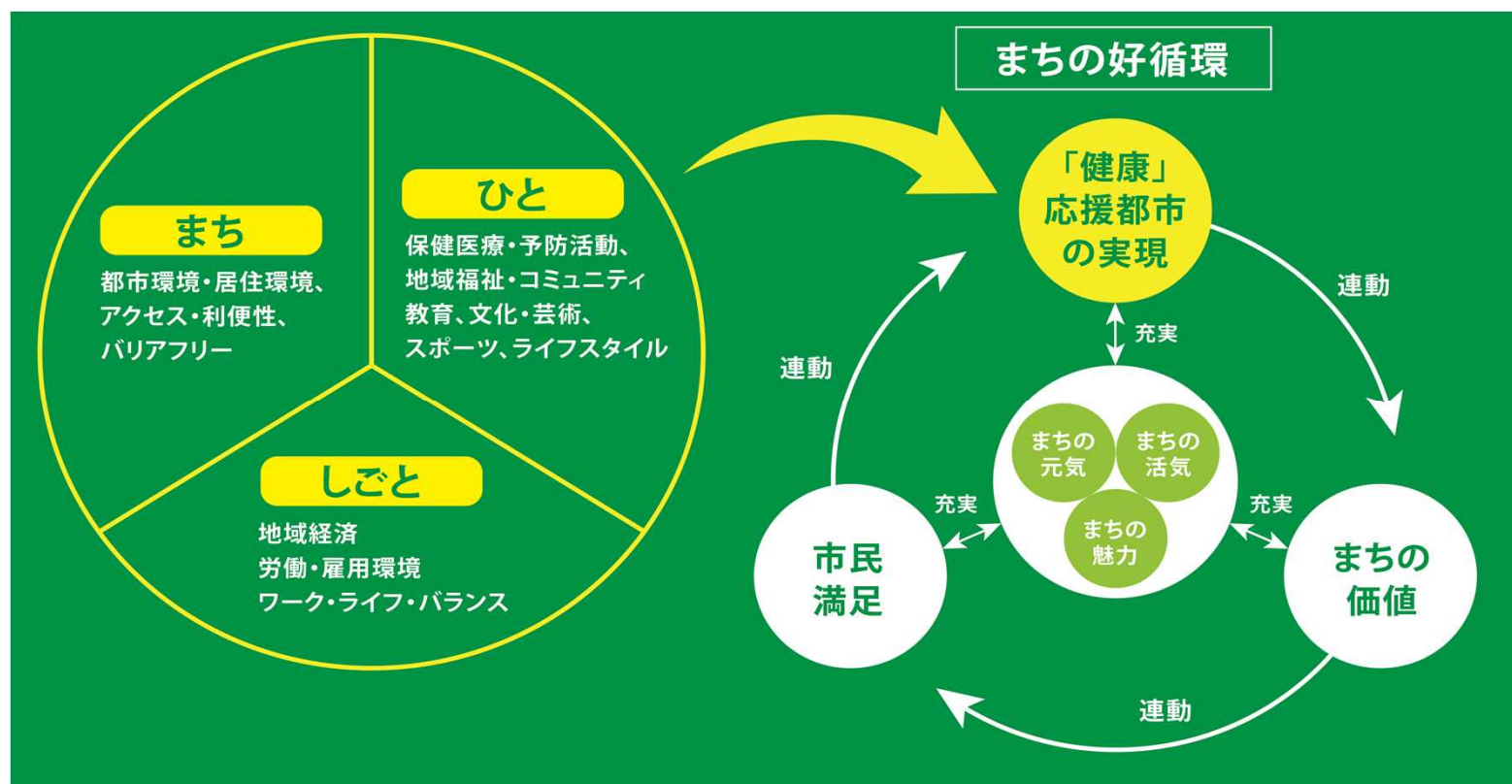
- 市民一人ひとりのところやからだの健康の達成
- まち全体の『健康』の達成 (*Healthy City*)

＝社会や経済、居住や環境といった、個人をとりまく生活環境

「**住み続けたいまち**」、**「住みたいまち」**としての**価値を高める**

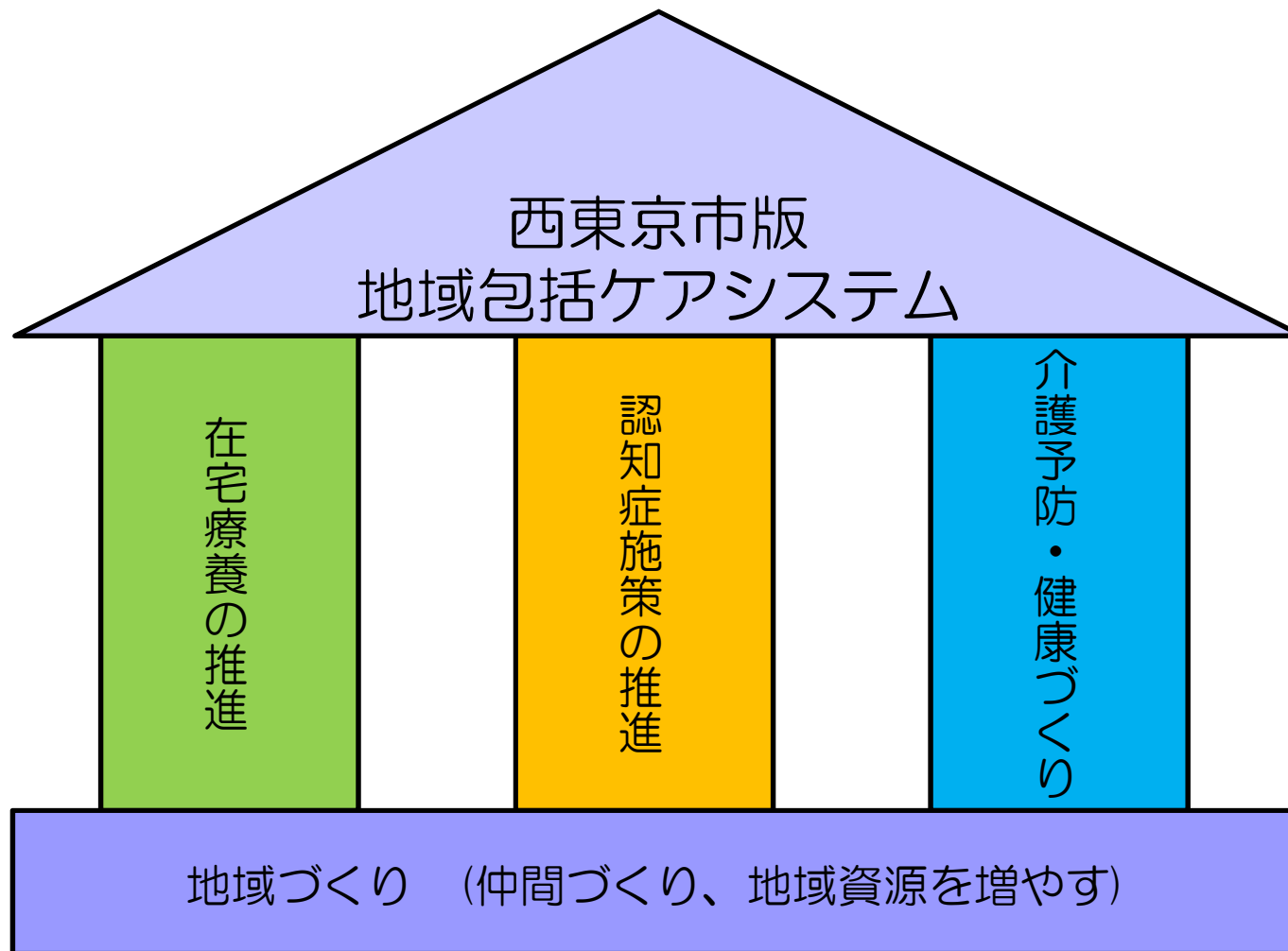


WHO提唱
「健康都市連合」
2014年7月8日加盟





市の地域包括ケアシステムのイメージ (平成29年度以前)



地域包括ケアシステムについて話し合う場

地域包括ケアシステム推進協議会

委員・部会員

62名



各会議の開催回数・検討結果

会議名	平成28年度 (平成29年度) 開催回数	検討内容・検討結果	実施(予定) 時期
在宅療養推進協議会	4回(4回)	各部会の検討結果の承認と各団体への周知	随時
市民との協働啓発部会	11回(13回)	市報1面への掲載	平成29年6月
		講演会の開催	平成29年7月
		出前講座の開催	(予定) 平成30年度中
連携のしくみづくり部会	7回(7回)	多職種研修(リーダー研修)の実施	平成29年7月・12月
		多職種研修(初任者研修)の実施	平成29年10月
		多職種研修(病院研修)の実施	(予定) 平成30年度中
在宅療養支援窓口部会	6回(4回)	在宅療養連携支援センター「にしのわ」の開設	平成28年10月
		「にしのわ」のバックアップ体制の検討	平成30年3月
受け皿づくり部会	6回(5回)	在宅看取りのためのショートステイの活用	(予定) 平成30年度中
		制度改正の勉強会	平成30年2月
後方支援病院推進部会	3回(3回)	後方支援病床確保事業の改善の検討	(予定) 平成30年度中
認知症支援部会	4回(6回)	認知症ケアパスの作成	平成29年3月
		認知症初期集中支援チームの設置	平成29年7月
合計	41回(42回)		7

市民との協働啓発部会 ～「本人の選択」の重要性を伝える～

やさしさふれあい西東京暮らし まちを楽しむ

広報西東京

No.408
平成29年(2017)
6/1

市役所代番 042-464-1311 (平日午前8時30分～午後5時)
発行/西東京市
編集/広報推進協議会 〒188-8666 西東京市南町5-6-13
配布/シルバー人材センター 042-425-0611

詳細はホームページで【西東京市Web】
ホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>
携帯版 <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>

主な内容

- 6月11日各サービス停止…2
- 市民税・県民税納税通知書を送付…2
- 西東京市生活サポート相談窓口…3
- 予算執行状況をお知らせします…5
- ベッブトーク講演会…10

いつまでもここで安心して暮らしたい

～地域包括ケアシステムを進めるために大切なこと～ “本人の選択と本人・家族の心構え”とは？

介護・リハビリテーション
医療・看護
保健・福祉
介護予防・生活支援
すまいとすまい方
本人の選択と本人・家族の心構え

地域包括ケアシステムとは…

団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制のこと

地域包括ケアシステムを国に要請。定住の結末は、サービス提供体制の構築や住まいのこと、医療と介護の連携なども重要ですが、「本人の選択と本人・家族の心構え」が重要になります。

現在、本市では地域包括ケアシステムを進めるために、在宅医療推進協議会を設置し、テーマごとに6つの部会に分かれて検討をしています。その中の一つ「市民との協働推進部会」では、市民と市が一緒にこの結末の推進の部分、「本人の選択と本人・家族の心構え」とは何かなどについて、これまで話し合ってきました。

平成28年に西東京市が行ったアンケート調査では、65歳以上の高齢者の約48%の方が「自宅で最期を迎えたい」と回答しています。しかし、実際には希望通りの最期を迎えられない現状があるといわれています。

部会での話し合いを進めていく中で、私たちは人生の最期に悔いなく過ごすための準備を怠らないこと、覚悟しておかなければならないことがあることに気付きました。

その結果、年齢や病気の種類にかかわらず、自分自身のように生きていきたいのかを、語り始めることの大切さに気づきました。

私たちの部会では、今後リーフレットの作成や講演会の企画などを進めて、市民の皆さんと一緒に考える材料を提供していきたいと思っています。

その第一歩として、元西東京市立診療所長による講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

この記事をきっかけに私たちと一緒に考えていきませんか？
西東京市在宅医療推進協議会 市民との協働啓発部会一同

講演会 最期まで幸せに暮らせる3つの条件 ～いま夕張市民に学ぶこと～

北海道夕張市は、日本一高齢化率の高い市です。市政運営により医療費が9割減ったにもかかわらず、市民の方々は明るくいきいきと元気に生活しています。

自分に、家族に、本当に必要なことは、みんなできちんと考えてみませんか。

7月22日(土)午後1時30分～4時30分
西東京市市民会館
講演者：元夕張市立診療所長 青田 日本ヘルスリサーチ代表
著書『最期からの奇蹟～いま夕張市民から学ぶこと～』
500人(申込制)
7月14日までに、電話・ファクス・Eメール・郵送で、住所・氏名・電話番号を下記へ
2部では、講師の青田氏と「市民との協働推進部会」が直接話し合います。

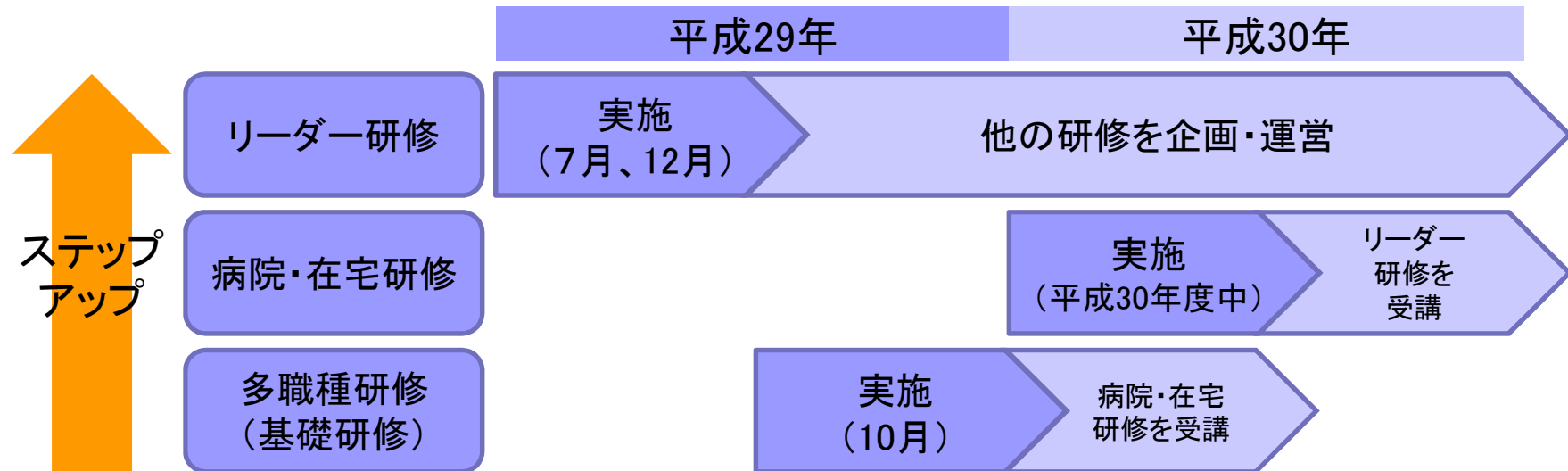
◆最新着で探検 020-202-8555 市役所高齢者支援推進在宅医療推進所 042-438-4102・042-438-2827 04-kourei@city.nishitokyo.lg.jp

この記事の意見・ご感想を高齢者支援課までお寄せください。



ちやぶ台トーク中の様子(平成29年7月22日撮影)

連携のしくみづくり部会 ～連携の土台づくり～



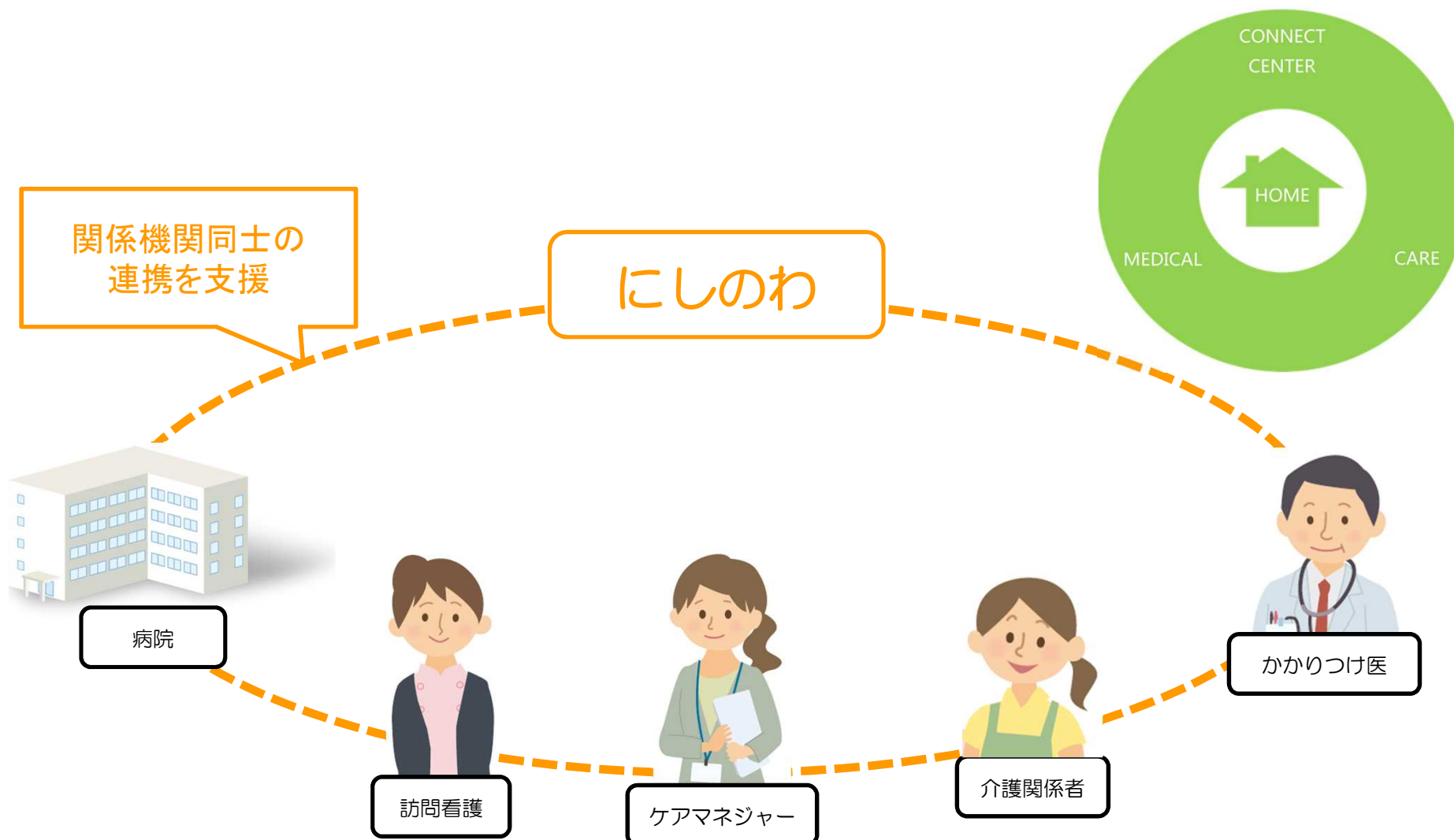
(左) 第1回リーダー研修中の様子(平成29年7月19日撮影)



(右) 第1回多職種研修のワールドカフェ中(平成29年10月7日撮影)

在宅療養支援窓口部会

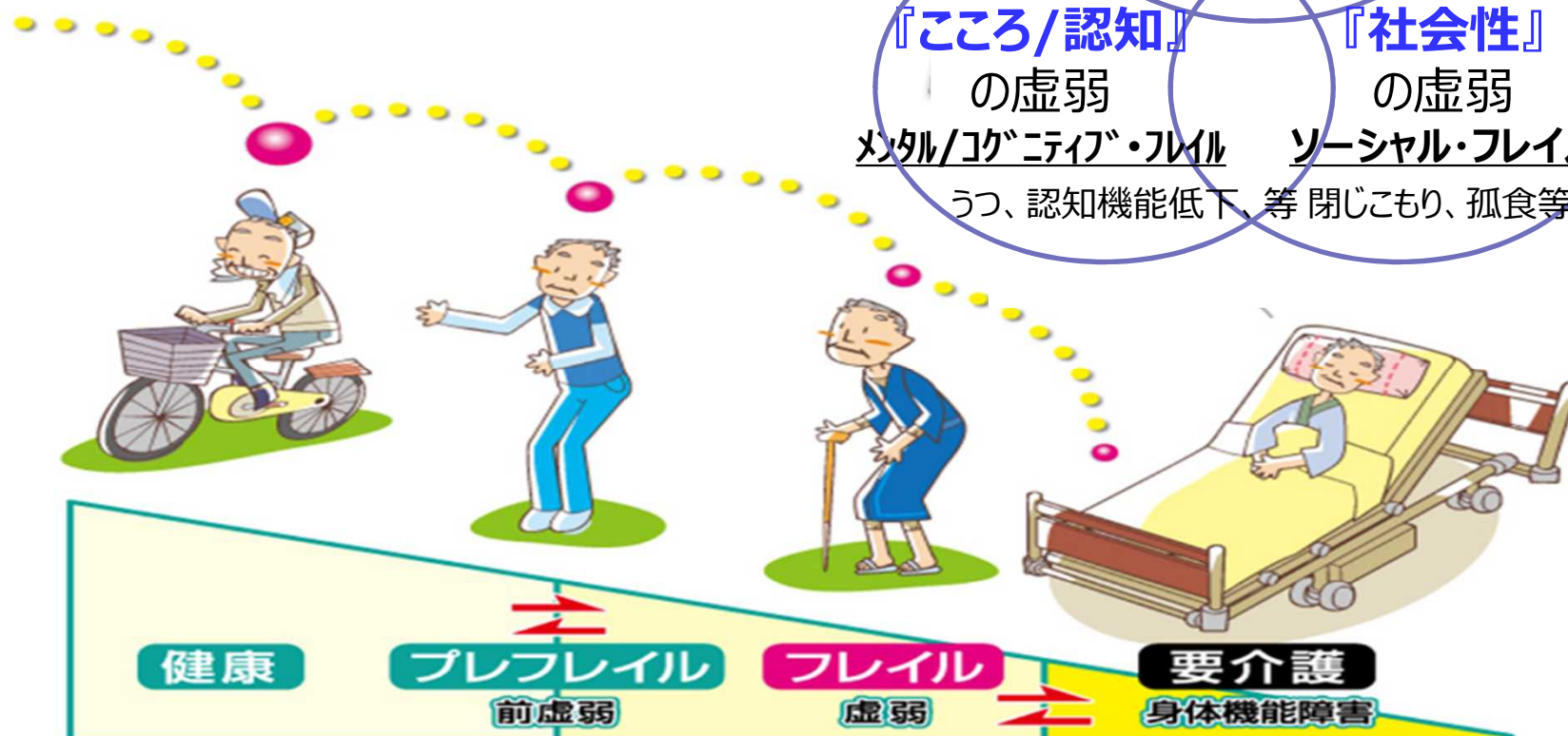
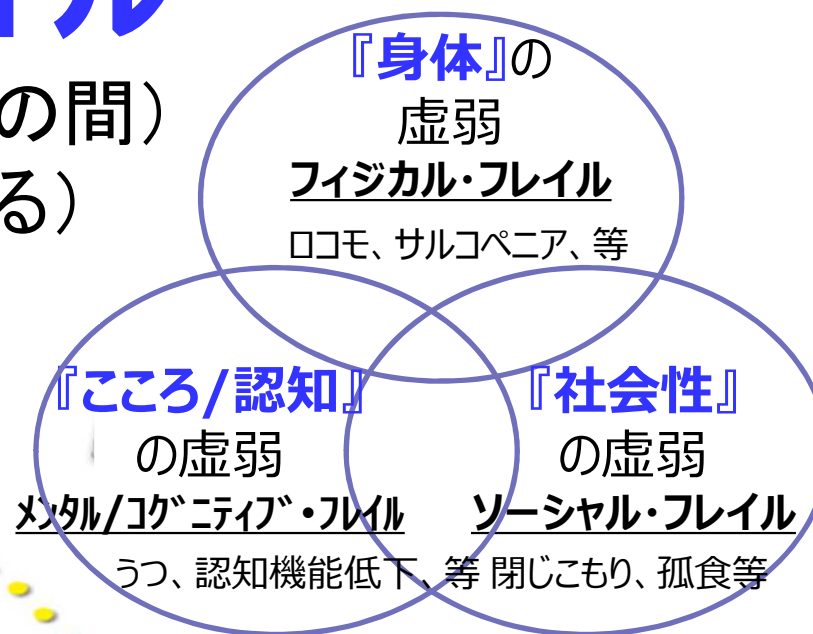
～在宅療養連携支援センター「にしのわ」の設置～



虚弱(Frailty)⇒フレイル

- ①中間の時期（⇒健康と要介護の間）
- ②可逆性（⇒様々な機能を戻せる）
- ③多面的（⇒色々な側面）

フレイルの多面性



フレイルのきっかけは社会性の低下

ドミノ倒しにならないように!

社会とのつながりの低下
がフレイルのきっかけ



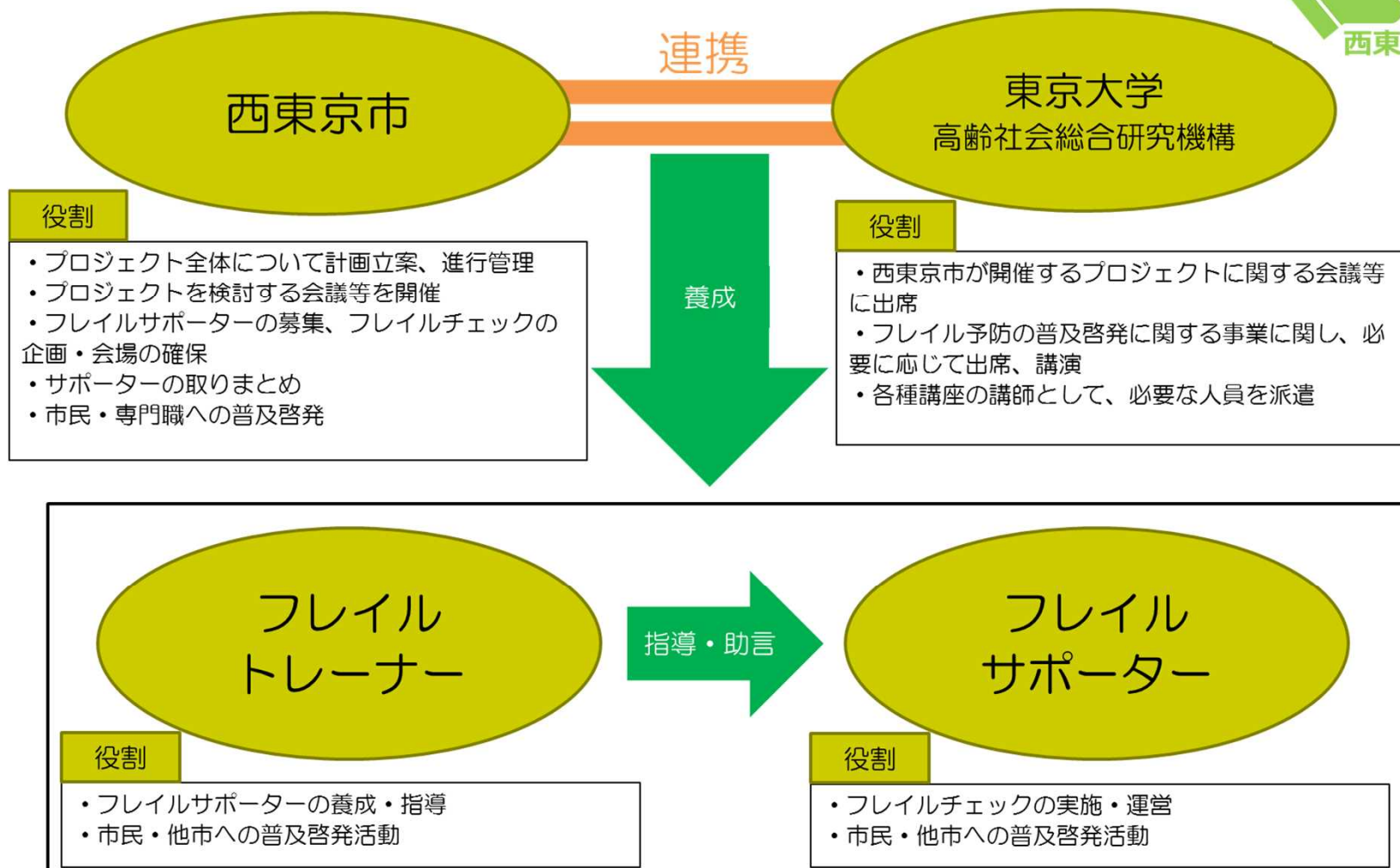
～社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入口です～

フレイル予防に関してIOGと協定を締結



東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）と西東京市との連携協力に関する協定締結式
（左から）東京大学高齢社会総合研究機構教授 飯島勝矢 氏、西東京市長 丸山浩一
（平成28年12月20日）

西東京市フレイル予防プロジェクト役割



平成30年度フレイルチェック実施会場



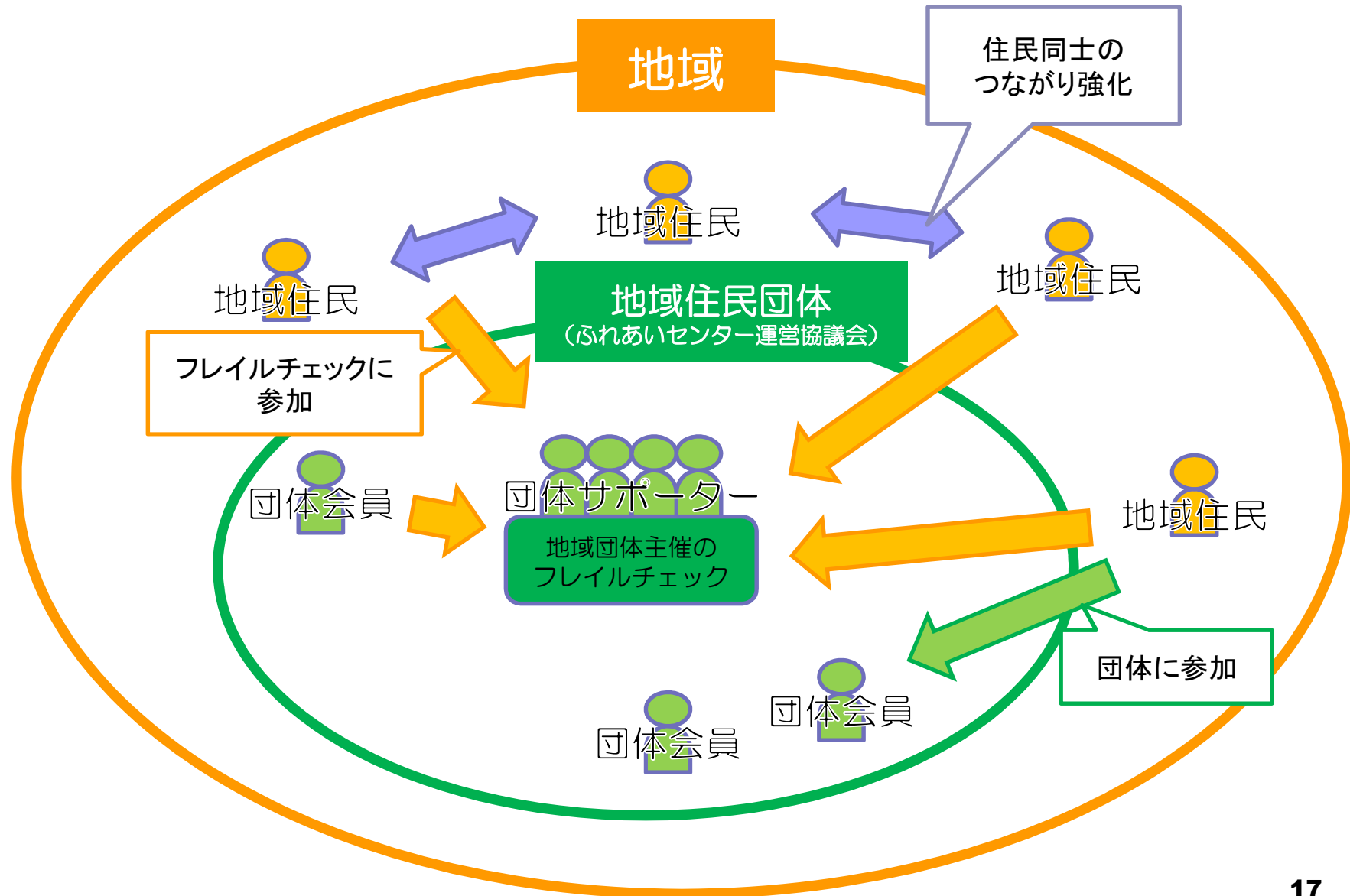
フレイル予防出張講座



延べ
約600人
参加

地区会館での出張講座
(平成29年5月13日撮影)

地域住民団体での自主化



地域活動等をまとめた冊子の作成



シニア向けお仕事説明会

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと「地域活性化包括連携協定」を締結した。

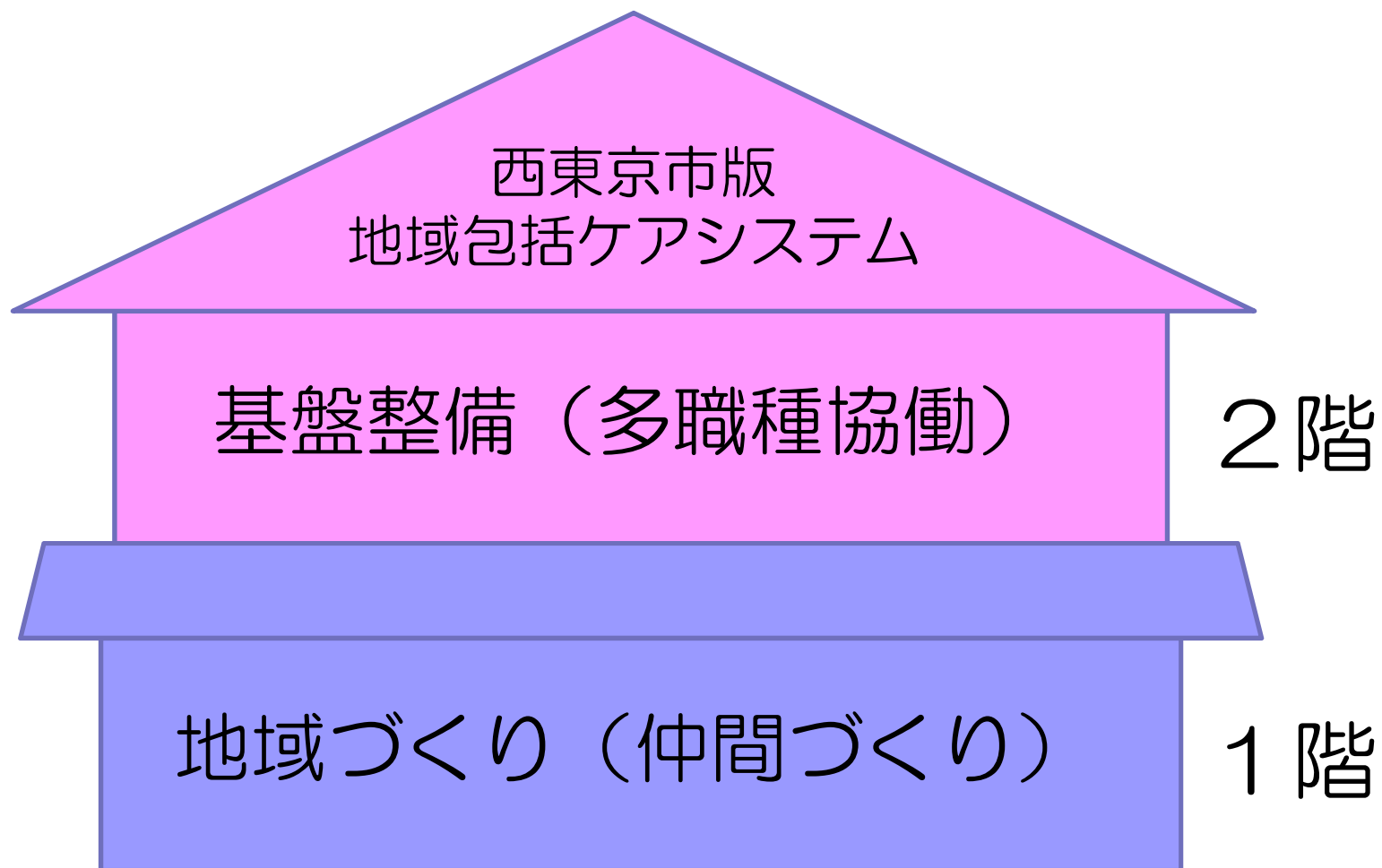
市内のセブン-イレブン店舗で就労を希望するおおむね60歳以上の男女を対象に、ハローワーク三鷹の協力のもと、採用説明会を開催。



当日の様子（平成29年10月24日撮影）

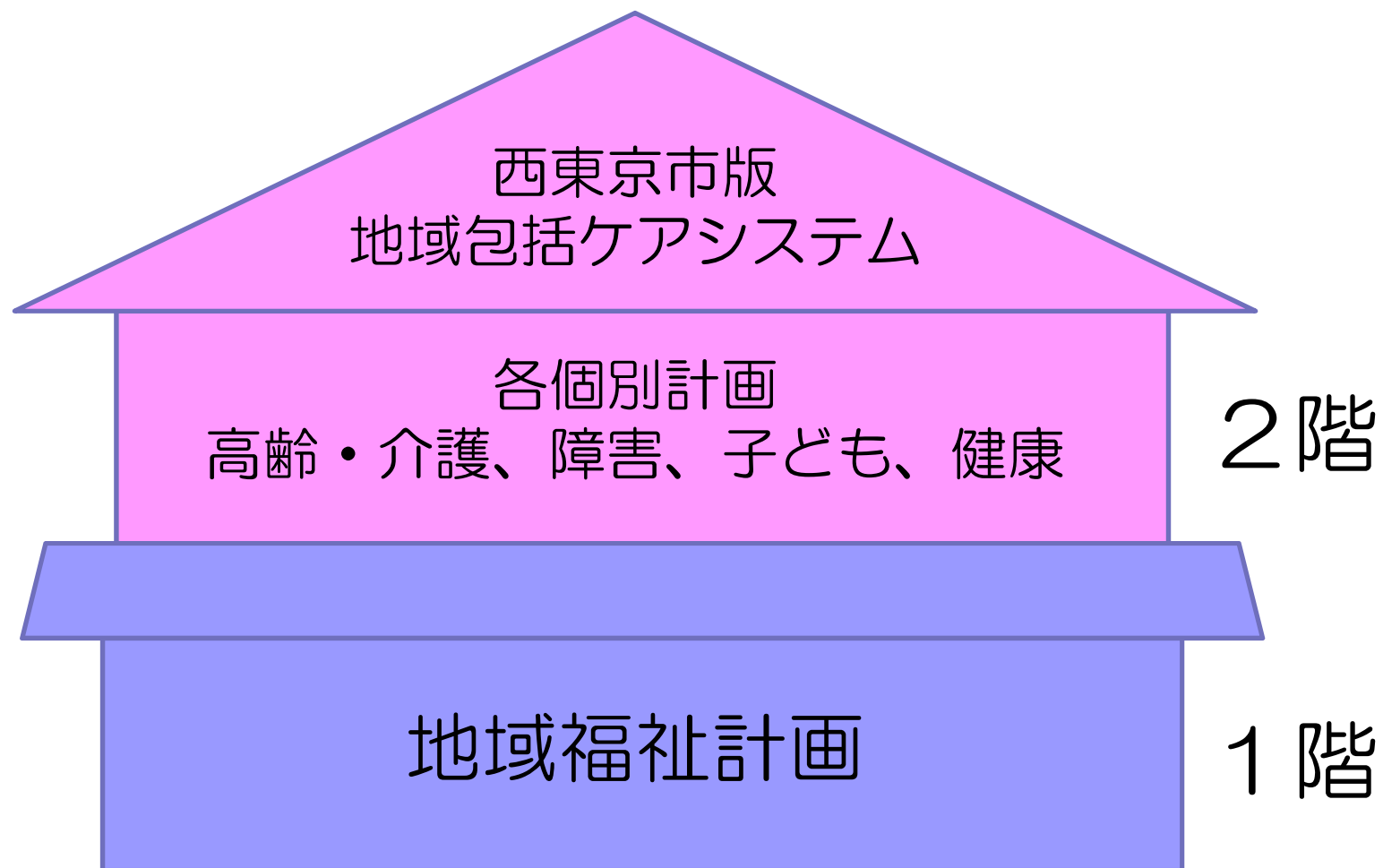


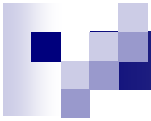
市の地域包括ケアシステムのイメージ (平成30年度以降)





市の地域包括ケアシステムのイメージ (計画ベース)



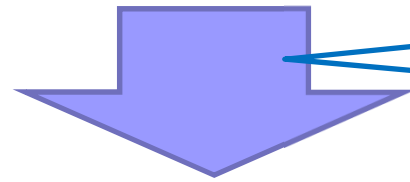


地域課題

- ① 地域のつきあいが弱い
- ② 居場所・交流の場がない・少ない
- ③ 相談先がわからない

地域課題

① 地域のつきあいが弱い



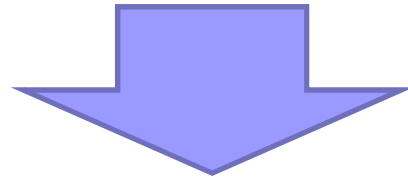
自治会加入率
約19%

自治会・町内会等活性化補助金

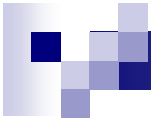
- ・自治会・町内会の主催事業
- ・地域づくりのために行う事業

地域課題

② 居場所・交流の場がない・少ない

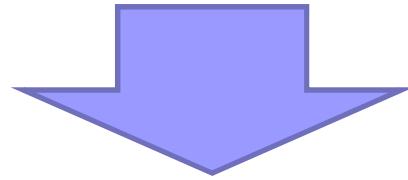


サロン・ミニデイ
こども食堂・放課後カフェ（中学校）
おにぎりカフェ・フードドライブ
寺子屋・勉強カフェ



地域課題

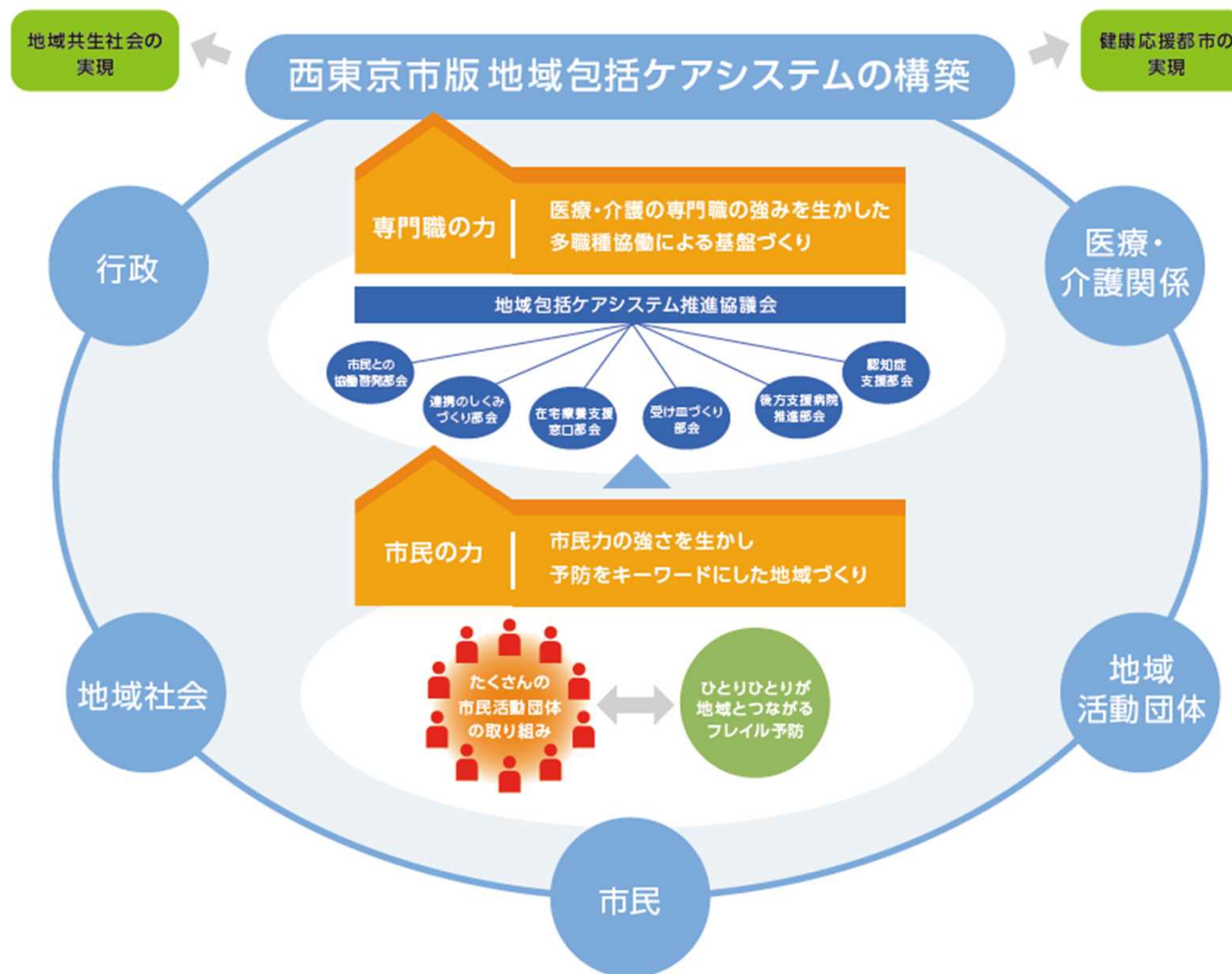
③ 相談先がわからない



ほっとネット推進員
地域福祉コーディネーター（CSW）

地域包括支援センター
フレンドリー

西東京市版地域包括ケアシステム



共生社会シンポジウム

表題：

西東京市における共生社会の実現

～困難を抱える方を含め、どのような地域をつくっていくのか～

第1回：平成28年2月6日
共生社会のイメージの共有

第2回：平成28年12月17日
各世代の様々な市内の居場所

第3回：平成30年2月3日
多世代が交流できる市内の居場所



第3回共生社会シンポジウムの様子（平成30年2月3日撮影）



地域コミュニティの再生（活性化）

- 地縁型コミュニティ
- テーマ型コミュニティ
- 危機管理型コミュニティ

人と人・・・つながる



西東京市在宅療養連携支援センター開設記念シンポジウムの集合写真
(平成28年10月15日撮影)

ご清聴ありがとうございました